



大阪医学統計学セミナー 第48回

Osaka Biostatistics Seminar

9月14日 (水)
13:30~15:30

「生物多様性の定量的評価の新しい考え方

A new perspective for quantifying biodiversity」

講演者：島津 秀康

(Department of Mathematical Sciences, Loughborough University, UK)



場所：
オンライン開催
医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室

参加ご希望の方は、前日までに下記問い合わせ先にメールにてお申込みください。

概要：生物多様性の計量評価は生態学のみならず生態保全管理の側面からも重要な課題となっている。特にその変化の評価について、重要性が盛んに指摘されている。生物多様性の多様な側面については、これまで様々な指標を調べることで理解が進められてきた。ところが各々の指標について理解されてきた性質が、その「変化」量について同様には成り立たずとは限らないことは意外と知られていない。つまり、各指標の変化量が、対象となる生物群集の何の変化を表すのか、より統一的な視点での理解が重要となるものの、必ずしも統一的な枠組みでの理解には至っていないのが現状のように思われる。

本発表では、生態学の分野で伝統的に使われてきた α , β , γ ダイバーシティといった生物多様性評価の指標を概観し、生物多様性変化の計量的評価のためにどのような枠組みが有用となりえるのか、その展望を議論する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座
E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301